

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-085616

(43)Date of publication of application : 18.03.1992

(51)Int.Cl.

G06F 3/02

G06F 3/023

H03M 11/04

(21)Application number : 02-202142

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 30.07.1990

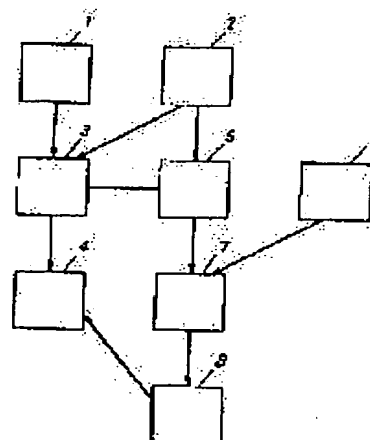
(72)Inventor : SAWADA KOJI

(54) DEVICE FOR CORRECTING COMMAND INPUT

(57)Abstract:

PURPOSE: To make it possible to quickly reinput a correct command when an incorrect command is inputted by arranging a command group consisting of plural commands supposed to be correct against a command having an incorrect spelling together with priority order.

CONSTITUTION: This command input correcting device is provided with a command storing means 2 for storing commands to be executed, an extraction means 5 for extracting a command supposed to be correct from the means 2 when an inputted command is not an executable command and a key arrangement data storing means 6 for storing key arrangement information on a keyboard. When an error is generated in input key operation, commands supposed to be correct are extracted from the executable command group and the command candidates are rearranged by the means 6 with the priority order. Consequently, a correct command can easily be selected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office.

Best Available Copy

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑫ 公開特許公報(A) 平4-85616

⑮ Int. Cl.⁵G 06 F 3/02
3/023
H 03 M 11/04

識別記号

3 8 0 A

庁内整理番号

6945-5B

⑬ 公開 平成4年(1992)3月18日

6945-5B G 06 F 3/023 3 1 0 L

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 コマンド入力添削装置

⑯ 特 願 平2-202142

⑰ 出 願 平2(1990)7月30日

⑱ 発 明 者 沢 田 康 治 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
 ⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
 ⑳ 代 理 人 弁理士 栗野 重孝 外1名

明 細 書

1、発明の名称

コマンド入力添削装置

2、特許請求の範囲

実行可能なコマンドを記憶するコマンド記憶手段と、入力されたコマンドと前記実行可能なコマンドの綴りを比較する比較手段と、つづりが一致しない場合にはつづりの一部が等しいコマンドの候補を前記コマンド記憶手段から抽出する抽出手段と、キーボード上のキー相互間の相対的距離データを記憶するキー配置データ記憶手段と、前記キー相互間の相対的距離データに基づく優先順位に従って前記コマンドの候補の序列を並べ換える並べ換え手段と、前記コマンドの候補の中から操作者がコマンドの候補を選択する選択手段を備え、前記優先順位に従って配列表示されたコマンド候補の中から操作者がコマンドを選択するように配してなるコマンド入力添削装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、コマンド処理システムに係り、入力された不正なコマンドを修正するコマンド入力添削装置に関するものである。

従来の技術

従来コマンド処理を行う場合、キーボードによって入力されたコマンドは直接コマンド処理系に渡される構成になっていた。このため、コマンドの入力を誤った場合、単にコマンドの不正を知らせるメッセージが表示されるだけで、改めて正しいつづりでコマンドを入力し直す必要があった。

発明が解決しようとする課題

このような従来の構成では、キーボード操作に慣れていないオペレータがよくするようなキーボード上で隣接するキーを誤って入力してしまった場合でも、すべてコマンドラインを入力し直す必要があり再び入力ミスを繰り返す可能性があるなど作業効率が著しく低下する問題点を有していた。

本発明は上記問題点を解決するもので、誤って入力されたコマンドを基に本来入力しようとしたコマンドを容易に正しいコマンドに変換するコマ

ンド入力添削装置を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

本発明は上記目的を達成するために、実行可能なコマンドを記憶するコマンド記憶手段と、入力されたコマンドが実行可能なコマンドでない場合正しいと思われるコマンドをコマンド記憶手段から抽出する抽出手段と、キーボード上のキー配置情報を記憶するキー配置データ記憶手段と、抽出手段から抽出されたコマンドの候補をキー配置データ記憶手段により優先順位をつけて並べ換える並べ換え手段を備えてなるものである。

作 用

本発明は上記した構成により、入力でキー操作を誤った場合に正しいと思われるコマンドを実行可能なコマンド群から抽出し、そのコマンドの候補のうちキー入力ミスの可能性の大きなものをより優先順位が高いものとして扱うことで容易に正しいコマンドを選択できるものである。

実 施 例

以下本発明の一実施例について、図面を参照し

る。コマンド記憶手段2の記憶が第2図に示すような6つのコマンドであれば、“SBC”というコマンドは存在しない。このとき、抽出手段5が駆動される。抽出手段5は“SBC”というつづり中のどれか1文字を順に別の文字に置き換えることで、コマンド記憶手段2から正しいと思われるコマンド“ABC”、“FBC”を選び出し並び換え手段7へ供給する。並び換え手段7はキー配置データ記憶手段6をもとに正しいと思われるコマンドを並び換えて選択手段8に供給する。

第3図はキーボードの一配置例を示している。ここでコマンド“SBC”の先頭の“S”のキーの位置を中心に“A”と“F”のキーの配置を考える。第4図はキー配置データ記憶手段6が持つキー配置情報の一例を示している。ある2つのキーとそれらの距離を示す情報が2次元配列の形で記憶されている。距離を示す数値が小さいほどその2つのキーの距離は近いことを意味する。“S”と“F”は1、“S”と“A”の距離を比べると“S”と“A”は1、“S”と“F”は2であるから、

ながら説明する。第1図は本発明の一実施例の構成図である。

同図において、1はコマンド入力部、2はコマンド記憶手段、3は入力されたコマンドがコマンド記憶手段に存在するかを調べる比較手段、4は供給されたコマンドを実行するコマンド実行手段、5はコマンド記憶手段から正しいと思われるコマンドを抽出する抽出手段、6はキーボード上のキー配置データを記憶しているキー配置データ記憶手段、7はキー配置データ記憶手段を使って抽出手段から供給されるコマンドの候補群を並び換える並び換え手段、8は正しいコマンドを選択させる選択手段である。

第2図は現在コマンド記憶手段2に登録されているコマンドを示している。いま第1図において、“SBC”というコマンドがコマンド入力部1から入力されたものとする。比較手段3は“SBC”というコマンドがコマンド記憶手段2の中に存在するかを調べる。もし、存在する場合そのコマンドをコマンド実行手段4へ送りコマンドの実行す

“A”のほうがより“S”のキーに近い位置にあることがわかる。これによって、正しいと思われるコマンド“ABC”はコマンド“FBC”より優先順位が高いものと扱われる。選択手段8は並び換え手段7より供給された優先順位でコマンド群を表示し、本来入力しようとしたコマンドをオペレータに選択させ、その正しいコマンドをコマンド実行手段4へ供給する。このようにしてオペレータは正しいコマンドを実行できるようになる。

このように本発明の実施例のコマンド入力添削装置によれば、正しいと思われるコマンド群をキーの配置に関係する優先順位をつけて配してあるが、オペレータは迅速に正しいコマンドを入力できる。

なお、本実施例ではキー配置データ記憶手段6は第4図に示すようなものとしたが、この情報を変えることで違う配列のキーボードにも対応できる。

発明の効果

実施例から明らかなように、本発明によれば不

正なつづりのコマンドに対して正しいと思われるコマンド群を順不同にではなくキーの配置による優先順位をつけて列挙ように配してあるので、入力時にまちがった場合に、より迅速に正しいコマンドを再び入力することが可能なコマンド入力添削装置を提供できる。

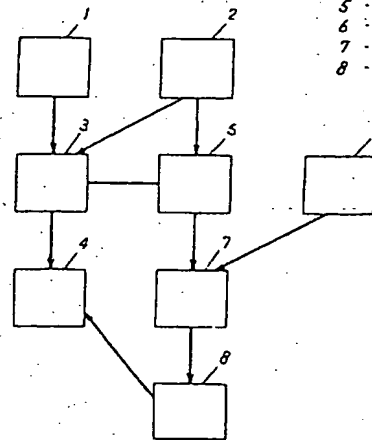
4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のコマンド入力添削装置の構成図、第2図はコマンド記憶手段に格納されているコマンドの一例を示す図、第3図はキーボードの一例のキー配置図、第4図はキー配置データ記憶手段に記憶されている一例のキー配置情報図である。

1……コマンド入力部、2……コマンド記憶手段、3……比較手段、5……抽出手段、6……キー配置データ記憶手段、7……並べ換え手段、8……選択手段。

代理人の氏名 井理士 栗野 重孝 ほか1名

第1図



- 1 …… コマンド入力部
- 2 …… コマンド記憶手段
- 3 …… 比較手段
- 5 …… 抽出手段
- 6 …… キー配置データ記憶手段
- 7 …… 並べ換え手段
- 8 …… 選択手段

第2図

A	B	C
F	B	C
P	Q	R
S	T	U
V	W	X

第3図

Q	W	E	R
A	S	D	F
Z	X	C	

第4図

	A	S	D	W	F
A	0	1	2	1	3
S	1	0	1	1	2
D	2	1	0	2	1
W	1	1	2	0	3
F	3	2	1	3	0

THIS PAGE BLANK (USPTO)